

1月全校集会・校長の話

2022/01/07 校長

新しい年、2022年が始まりました。新年にあたり、みなさんはどんな決意をもってしょうか。それぞれの決意を大切に日々を過ごし、充実したよい一年をつくってほしいと思います。

また年末年始は、日本の伝統文化に触れる機会が多くあったと思います。三年生のみなさんは、それどころではなかったかもしれませんが、多くのみなさんは、大掃除をし、除夜の鐘を聞き、初詣に出かけたのではないのでしょうか。お年玉ももらったことと思います。それぞれの行事や習わしには意味があり、例えばこのお年玉は、新しい魂をもらうことだと言われています。まずは、元旦に感じた新鮮な気持ちを持ち続けたいものです。

そして、一年前を思い出してください。昨年度は1/4から学校が始まり、今日1/7はすでに三学期4日めでした。「ふつう」であることがいかに貴重なことか、そのことも忘れないでほしいと思います。

さて、12月に行われた文化交流会を振り返ります。文化交流会の各学級の合唱は、それは素晴らしいものでした。どの学級の合唱からも、みなさんの歌声を通して、一人一人の気持ちが伝わってきました。仲間とこの合唱をつくり上げたのだという自信、仲間への感謝、仲間とともに歌う喜び、それらが重なって感じられました。きっと、ステージで仲間と歌っている時間は、緊張の中であっても、ある人は、これまでの練習や仲間とのやりとりが次々と思いつかび、またある人は、歌うことに集中し、歌い終わって我に返る、そんな、これまで感じたことのない感覚に包まれたのではないかと思います。ピアノの音が消えた時、楽しい時間が終わってしまった、と感じた人がいるかもしれません。どの学級の合唱も、本当に素晴らしかったと思います。

また、それぞれの合唱には学年らしさがありました。一年生の合唱からは元気を、二年生の合唱からは荒削りな力強さと今後の期待を、そして、三年生の合唱からは三年間の大きな成長、三年間で培ってきた力と自信を感じました。

さらに、学級合唱のもつ魅力にも改めて気付きました。失礼ながら、うまくはないけれど、一人一人が学級で楽しく生活していて、仲間と歌えることも楽しくて仕方がない、そんな学級合唱がありました。担任の先生との関係が垣間見える学級合唱もありました。合唱に聴き入っているうちに、歌うみなさんの後ろに、担任の先生の顔が浮かんで見えました。また、学級全員がそろわなければ、学級合唱ではないという強い決意をもった学級もありました。それぞれの学級にそれぞれの生活があり、ドラマがあり、それが学級らしさとなって表れたのだと思います。

三年生のある学級が、こんな語りをしていました。「今まで自分たちが見てきた加中の伝統、今まで自分たちが追ってきた先輩たちの姿を、会場にいるすべてのみなさんに伝え、つないで行けたらよいと考えています。」こうした思いは、どの学級からも伝わってきました。合唱を通して全校がつながる、合唱を通して過去と現在がつながる、そんな素晴らしい文化交流会であったと思います。

さて、いよいよ加納中の令和3年度も残りわずかです。三年生のみなさんは残り二か月、一・二年生のみなさんは残り三か月です。

そこで、みなさんに提案です。これからの二か月、三か月、これまで培ってきた仲間とのつながりをもとに、一人一人が「自分が実現させたい生活を、自分が行動してつくる」、そんなことを心がけてはどうでしょうか。自分は、これからどんな生活がしたいのか、それを考え、そのために必要な変化を実現するために、自分が行動するのです。現状に満足することなく、よりよい生活を求める、そのために変化は必要です。その変化を自分が行動して実現させようということです。

身近な学校生活でいえば、自分の学校生活をよりよくするためには、どんな変化が必要かを考え、その変化を実現させるために自分が何らかの行動をするということです。それは他人任せにせず、自分の責任で行動することでもあります。そして、そこで培った行動力は、自分が実現させたい未来を、自分がつくる時にも役立ちます。

当然、仲間と生活しているわけですから、自分一人で様々な変化を実現させることはできません。一人一人が自分の学校生活をよりよくするために行動を始めれば、どうしても仲間の協力が必要になります。その時は、これまでみなさんがつくってきた仲間とのつながりを活かせばよいのです。みなさんの行動に、仲間もきっと協力してくれます。そして、みなさんのそうした行動は、みなさん一人一人の心の中に、自分に対するプライド、仲間への感謝の気持ちをさらに大きくすると思います。

これからの二か月、三か月の中には、大きな行事があります。ふるさと学習や平和学習で学んだことを発表する「空澄み学習発表会」、自分は人をどう見ているのか、人とどう関わるのかを見つめる「いじめについて語る会」、そして、自分の成長を振り返る「先輩と語る会」「卒業式」「学級解散式」。そうした行事を通して、自分が実現させたい生活を、自分が行動してつくっていく、そんな姿を期待します。